

2018年8月31日

国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター(NCNP)

第一生命保険株式会社

国立精神・神経医療研究センターと第一生命が 包括的連携協定を締結

～民間企業初、すべてのナショナルセンターと情報啓発協定を締結～

国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター(所在地:東京都小平市、理事長:水澤 英洋、以下、「国立精神・神経医療研究センター」と第一生命保険株式会社(所在地:東京都千代田区、社長:稲垣 精二、以下、「第一生命」)は、2018年8月31日、精神・神経・筋疾患及び発達障害に関する情報の普及啓発について包括的連携協定を締結しました。

国立精神・神経医療研究センターは、「脳とこころ」「神経と筋」の病気を克服するために作られた研究所と病院を併せ持つ国立研究開発法人で、研究所と病院が密接に連携して、治りにくい精神・神経・筋疾患等の病因・発症機序の解明、診断法の確立、新規治療法の開発、モデル医療の展開および精神保健の向上に取り組んでいます。

第一生命は、1902年の創業以来、お客さま第一を経営の基本理念に据え、生命保険の提供を中心に、地域社会への貢献に努めてきました。本業の生命保険を通じた「確かな安心」とともに、第一生命らしい「充実した健康サポート」を、生涯設計デザイナーを始めとした全国のスタッフによる強固な組織力で幅広く提供しています。

本協定をもって、民間企業で初めて、国内最高峰の専門医療機関であるナショナルセンターすべてと情報発信ネットワークを構築し、健康に重大な影響を及ぼす疾患に関する正確な情報提供が可能となります。

<6ナショナルセンターとの情報発信ネットワーク>



昨今、社会や家族の形の急激な変化を背景に、ストレスの増大に伴ううつ病など「現代病」といわれる精神疾患の患者数は増加傾向にあり、約 400 万人に迫っています。また、パーキンソン病、筋ジストロフィーなど多数の神経難病では良い治療法が確立されていないという社会的課題もあり、一人ひとりが正しい知識を身につけ、予防することが今後ますます重要になると考えています。今回の国立精神・神経医療研究センターとの包括的連携協定により、第一生命は啓発リーフレットの配布やセミナーの開催等を通じて、精神・神経・筋疾患及び発達障害に関する理解促進や予防に役立つ正確かつ最新の研究・医療の情報を、全国でお届けしていきます。

【今後予定している取組例】

精神・神経・筋疾患及び発達障害などの正しい知識・予防啓発情報を全国に発信

第一生命が有する全国約 1,300 の営業拠点および約4万名の生涯設計デザイナーのネットワークを活用し、国立精神・神経医療研究センター監修の啓発リーフレットを配布します。精神・神経・筋疾患及び発達障害などの正しい啓発情報を全国に発信し、疾病予防や重症化防止に向け、自治体とも連携※して地域のみなさまの健康寿命の延伸に貢献します。※第一生命は 47 都道府県と健康増進など様々な分野で連携協定等を締結しています。

① 啓発リーフレットの配布

各疾病の正しい知識と予防に関するリーフレットを地域の皆さまに配布し啓発活動を行います。



② 啓発セミナーの開催

広く一般の方を対象に啓発セミナーを開催します。



【啓発セミナー】(例)

- ✓ 国立精神・神経医療研究センター医師講師による疾病解説・予防知識をテーマとした啓発セミナーを実施
- ✓ メンタルヘルス領域に率先して取組んでいる自治体とも連携し、国立精神・神経医療研究センター発の最新情報を提供